

みずほCustomer Desk Report 2018/03/16号(As of 2018/03/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.04
TKY 9:00AM	106.17	1.2375	131.39	1.3971	0.7881
SYD-NY High	106.42	1.2384	131.54	1.3989	0.7885
SYD-NY Low	105.79	1.2300	130.56	1.3922	0.7794
NY 5:00 PM	106.34	1.2306	130.87	1.3936	0.7798
NY DOW	24,873.66	115.54	日本2年債	-0.1400	1.00bp
NASDAQ	7,481.74	▲ 15.07	日本10年債	0.0400	▲ 1.00bp
S&P	2,747.33	▲ 2.15	米国2年債	2.2847	2.47bp
日経平均	21,803.95	26.66	米国5年債	2.6224	1.02bp
TOPIX	1,743.60	0.39	米国10年債	2.8253	0.73bp
シカゴ日経先物	21,705	90.00	独10年債	0.5725	▲ 1.75bp
ロンドンFT	7,139.76	7.07	英10年債	1.4380	0.05bp
DAX	12,345.56	107.82	豪10年債	2.7185	▲ 3.10bp
ハンセン指数	31,541.10	106.09	USDJPY 1M Vol	8.06	0.08%
上海総合	3,291.11	▲ 0.27	USDJPY 3M Vol	8.53	0.20%
NY金	1,317.80	▲ 7.80	USDJPY 6M Vol	8.58	0.14%
WTI	61.19	0.23	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over
CRB指数	193.89	▲ 0.60	EURJPY 3M Vol	8.47	0.25%
ドルインデックス	90.14	0.44	EURJPY 6M Vol	8.78	0.11%

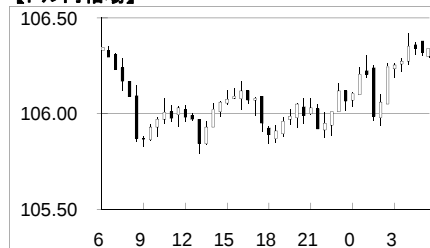
昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月15日	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)	2月 0.0%/1.2%	-0.1%/1.2%
	21:30	米 NY連銀製造業景況指数	3月 22.5	15.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 226k	228k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	3月 22.3	23.0

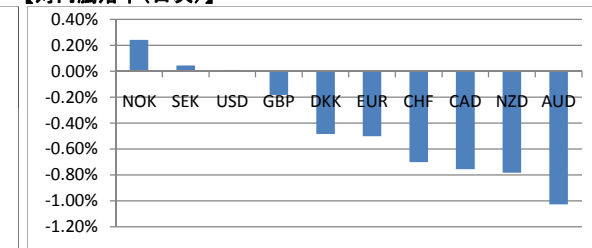
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月16日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	2月 0.2%/1.2%	-0.9%/1.3%
	19:00	欧 CPIコア(前年比)	2月 1.0%	1.0%
	21:30	米 住宅着工件数	2月 1290k	1326k
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.4%	-0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド指数	3月 99.3	99.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.80-107.10	1.2250-1.2400	130.00-131.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、底堅い展開。ロシアゲート事件に関連したヘッドラインが重石となり一時105円台をつける場面もあるも、その後のドル買い戻し優勢の流れを受け106円台前半での推移となった。107円付近でも上値が重かった一方、昨日106円付近でも下値が限定的だったことから、大きな方向感が出るには材料不足で積極的に取引する切欠が欲しいところ。本日も主要経済指標の発表少なく、来週にG20会合やFOMCといったイベント控えており、様子見ムードが強い相場となる。

東京	東京時間のドル円は106円付近で終始上値重い展開となった。東京時間は106.17ルベルでオープン。仲値近辺では五・十日の影響もあり売り買いが交錯し105円台後半に下落した。その後は106円台を回復する場面も見られたが前日のリスクオフムードを引き継ぎ株価が下落する場面では連れ安となり一時下値105.79を付けたが、結局106.02ルベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.02ルベルでオープン。特段の材料無い中、オープンルベルを小動かし、105.98ルベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3974ルベルでオープン。デヴィスEU離脱担当が議会で証言するも、移行期間が短縮される可能性を示唆した前回とは異なり本日は具体的説明が無く、交渉に進展が見られなかったことから1.3922まで下落。その後も上値の重い推移が続き、1.3931ルベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は105.98ルベルでオープン。朝方発表された予想比強めの米指標結果を受け106.08まで上昇したが、ほどなく105.87まで反落。その後、トランプ大統領が「カナダ首相は対米で貿易黒字であることを認めたがらない」とツイートしたことを受けカナダドルに対してドルが強含む動きに連れ高となり、106.30まで上昇。しかし、ナロ国家通商会議(NTC)委員長が通商法301案に基づく中国の知的財産問題で数週間以内に対中措置をとると示唆したことや、米紙による「モラ-米特別検査官がトランプ大統領の会社にロシア関連文書を求める召喚状を送付」とのヘッドライン、また監督当局である米連邦エネルギー規制委員会がMLPIに対する税額控除の一部を撤廃したことを受けたエネルギー関連株の下落を背景に、序盤は堅調に推移していた米株が上げ幅を縮小したことから、ドル円も105.94まで下落。その後、米株が再び上げに転じたことからドル円も切り直し、高値106.42まで反発し、106.34ルベルでクローズ。一方、1.2348ルベルでNYオープンしたユーロドルは、低下基調の欧州金利を横目に終日軟調に推移。1.2300まで下落し、1.2306ルベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 岡本・田家